

# 2015年度 第1回 常任理事会議事録

日 時：2015年8月19日（水）10：30～17：00

場 所：連合会館 402号室 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

## I. 開会

## II. 会長挨拶

## III. 議事

1. 議長選出：白木副会長 議事録作成人：事務局 長島きよこ

2. 定足数確認

理事：出席 29名/37名中 監事：出席 3名（3名中）

顧問：1名 事務局：3名 オブザーバー 0名 役員候補者管理委員長 1名 合計：37名

3. 議事録署名人の指名 代表理事：井口功 監事：伯井守

4. 資料及び議案の確認、新議題の採択 特になし 前回議事録の確認

2014年度第3回常任理事会 2014年度第6～7回・2015年度第1回正副会長会議

新議題として…報告 25：賠償責任保険について

報告 7：石博について⇒協議事項に挙げてほしいという意見。質問ありきの報告事項のまま。

### 【審議事項】

(1) 入退会者について（入会 5名 / 退会 5名）

大代専務 審議 資料 P1

入会：5名 **全会一致にて承認**

退会：5名 **全会で確認**

(2) 【お墓D】第12回検定試験について

中村委員長 審議 資料 P9

参加者数の記入違い。受検者 560名（会員 340名・非会員 220名）に訂正。

全会場予約済。前回と変更になった実施場所について説明。

受検 DM を 9 月末までに 15 千通の発送予定。

受検要項の発送、締切日（12/11）はほぼ例年通り。

**全会一致にて承認**

(3) 【お墓D】模擬問題集 2015 発行について

中村委員長 審議 資料 P11

昨年度 1 級合格率が低かったのは問題集の発行が遅くなってしまったことも要因の一つのため、今年度は 10 月初旬の販売・発送厳守で進めていきたい。

**全会一致にて承認**

(4) 【広報】来年度カレンダー作成について

上野委員長 審議 資料 P13

会員石材店を通し消費者にお墓参りの大切さを伝えるためのツールとして提案。

柴田 月曜日スタートにしてほしい。納骨などのスケジュールがあるため土日が続いた方が見やすい。お墓参りに絞ると仏具関連業とネタかぶり、オリジナリティにかけるので国産石材を紹介したらどうか。

小柴 カレンダーは作成しているところが多いので需要がないのでは。記念日シールだけでもよい。

太田委 各社自社カレンダーがある。

水野 使い勝手のいいカレンダーがあるので、実際に使われないともったいない。

本宮 石産協オリジナルなら多少購入してもよいが、社名を入れて作成するほどではない。

直前 お墓参りの仕方（掃除の方法など）、お墓物語と連動など。

白木 卸し・小売りのカレンダー用途が違うので、統一したものは難しい。次期的に少し遅れ気味か。

**賛成多数 反対 0 白票 2**

<白票理由> 大代 正副での協議が甘かったし、受注数が少ないと赤字になってしまう。

小柴 会社も経費削減しているため。

議長 受注がなく採算が取れないような場合は事業中止。委員会でよく検討を。

(5) 【定款】支部事業助成金交付規程について

白木副会長/大代専務 審議 資料 P19

一度協議したが、必ずしも支部に事業を強制するものではない。交付申請書を提出必須。

P21 修正 支部事業への助成金は ~~30万円~~ 20万円を限度とする。（地区大会に合わせる）

収益事業の場合、支部事業でなく本部事業とするため助成の対象にはならない。

支部助成金は来年度予算に盛り込む予定。

**全会一致にて承認⇒2015年8月19日施行 2016年1月～受付開始**

(6) 第6回定時総会事業報告及び決算について 水野地区長/大代専務 審議 資料 P26

水野 48都道府県揃うことを目標にしていたが和歌山県支部設立が達成できなかったことが心残り。賃借料差異は収益にあたる事業ではないため、格安で会場を借りることができる予定だったが、パンフ提出したところ、1円でも登録料がある場合、収益事業の対象になり、予算をオーバーしてしまった。

佐野 次回の参考のため、各県からの参加人数を発表してほしい。常任理事会終了後役員メールで報告する。  
**全会一致にて承認（次回からは支部ごとの登録人数を提出すること）**

(7) 補正予算書の作成（書き方）について[補正提出基準割合を審議] 大代専務 審議 資料 P32

石博の反省として、暗黙の了解で進まないよう、ルールを決めたい正副からの提案。総予算の20%が妥当なのかご意見をいただきたい。

上野 金額の方が良い。1円でも超えたら補正を提出する代わりに正副ではスピーディーに対処すること。また、予算以内で行うことを義務付ける。

柴田 金額や限度を決めず、補正提出の義務化。上限については正副に委託し、理事会に提出すべきかを諮る。

水野 どのタイミングで出すのか。前例のない事業を行う場合の予算を決めるのは難しい。また、理事会までに期間がある場合、その事業自体がストップしてしまうのではないかと。

大代 期間が開いてしまう場合、メールなどを使って正副で協議、対応する。

二上 事業規模によると思うので、当初予算額によって、「¥〇〇以上の場合、〇〇%を超えた場合」などを決めてもらった方がよい。

大代 正副に戻し協議したい。事業計画のマニュアル作成予定。

佐野 予備費を総予算の何パーセントと決めた方がよい。登録人数によって収入が変動する場合は補正予算を出さざるを得ないため、予備費があればまかなえるのではないかと。

友常 イベント色が強い事業は見込みが立たないことも多い。事業途中では増減がはっきりしないこともある。補正を出すタイミングが難しい。対処法を決めてほしい。

大代 事業計画書を以下の通り修正。

①当初予算（総会資料に提出した予算書）を大幅にの事業費を変更する際（注1）には補正予算書を提出しなければならない。

注1：大幅に変更するとは・・・事業費より流用支出が当初予算の20%を超えた場合

**全会一致にて承認 本日の意見を踏まえ、詳細は再度正副で検討。**

## 【協議事項】

(1) 【定款】支部運営規定について 白木副会長/大代専務 協議 資料 P34

第6回総会において承認された会員の変更に伴って、支部運営規定も変更になるため次回理事会に審議として上程する。

新田 準会員がなくなるなら正会員の「正」をすべて削除した方がよいのでは。

戸部顧問 特別会員があるため、あえて残したが、定款の中で「正会員を以下会員とする」に変更し、すべてを「会員」と修正することも可能。

議長 正会員と特別会員について定款委員会について再度検討する。

## 【報告・依頼事項】

(1) 【役員候補者管理委員会】会長立候補者について 大田明彦委員長 報告 資料 P38

立候補者は射場一之氏一名。規則に則り理事会に推薦する。10月20日理事会にて上程、審議。

今後のスケジュール及び次期役員推薦書フォーマットはメール配信。

(2) 会費変更に伴う今後の流れ及び準会員の対応について 大代専務 報告 資料 P40

12月に全会員あてに現在の登録内容について、再度確認票を郵送予定。

(3) 中国・四国地区全体会議について 渡辺地区長 報告 資料 P42

岡山県支部からのPR動画披露。9月の石産協通信に案内同封。多くの参加を要請。

(4) 【加工・採石・関連】第5回加工講習会開催について 坂口・友常部会長 報告 資料 P44

現在申込み32名で定員に達している。勉強会はまだ申込み可能。

(5) 【墓石】日本香堂 Happyshine 参加企業/研磨・洗剤研修のご案内 佐野部会長 報告 資料 P47+A3

9/5、10/24に参加企業/研磨・洗剤研修説明会あり。

- (6) 【正副】関連部会進捗状況について 竹ノ内部会長 報告 追加 P2  
出来上がり次第全会員に無料配布予定。
- (7) 【正副】石博検証について 白木副会長 報告 資料 P49 追加 P3  
柴田 報告書を一般会員へ提出前提で書類を作成すべき。白木副会長は執行部であり、定款諸規則検討特別委員会の立場として報告書を作成されたが、監事があるべきことではないか。収益事業ではないので赤字になるわけではない。事務手続き上の落ち度になる。監事からの勧告という報告書を作成して欲しい。  
戸部 監事は会計のみならず、業務監査も含む。検証委員会がないため、定款諸規則検討委員会が代わってそれを担い、報告書を作成したことは、会の意見として示すことに問題はない。  
伯井 今後当会の運営を執行部の独善を防ぎ民主的に運営するなら、第三者検証委員会を立ち上げ、予算の立て方、執行のあり方を検証して、事実報告を監査することができるし、監事としてはその義務もある。補正予算等の基準の審議もあったが、総合的な視点で建設的な取り組みの協議をするのもどうかと考える。  
白木 本日の意見を正副で検討。
- (8) 【広報】「石工男子プロジェクト」について 上野委員長 報告 資料 P51  
8/20の広報委員会でさらに検討する。インターネットを使って配信していく予定。  
もう少しエントリー数を増やしたいので、ぜひ申込みください。
- (9) 【広報】12/8～12/10 ENDEX エンディング産業展 出展及び後援決定 上野委員長 報告 資料 P52  
埋葬関係企業の参加が多い。石産協としては後援したことで2ブースを無料提供されているので、どれくらい墓石や石材について提案できるか委員会で検討する。
- (10) 【広報】PRAY FOR (one)について 上野委員長 報告 資料 P61  
パンフレットが出来上がっているので次回の石産協通信に同封。会員を増やしたい考え。また、B2 サイズポスターは事務局で保管されているのでご希望の方に配布します(送料のみ負担)。ぜひ、活用を。
- (11) 【広報】SEO 対策現状報告 上野委員長 報告 資料 P63  
ホームページは内容を充実させるとアクセス数が増えるが、現時点では力不足の為、キーワード埋め込むことで費用をかけてアクセス数を上げた。  
今後は消費者と会員をつなげるようなサイトにしていきたい。そのためには会員の意識向上も必要。  
お墓の窓口ではフリーダイヤルに誘導しているが、受ける体制が十分でない。D委員会の協力も仰ぎたい。
- (12) 【次世代】あじ SF 青年部交流会報告 山口/森田 報告 資料 P71  
当日の様子と決算報告
- (13) 【次世代】全国石材青年部長サミット決算報告 山口/森田 報告 資料 P73  
当日の様子と決算報告
- (14) 【定款】災害協定支部契約に関する件について 白木副会長 報告 資料 P75  
手順を紹介。行政では震災以降積極的に取り組んでいるので問い合わせてみることに。
- (15) 【社会調査】各支部お墓相談室開催予定について 柴田委員長 報告 資料 P76  
前年よりも少ない。1支部では難しいようなら、地区内合同の事業として行ってほしい。
- (16) 【社会調査】産地証明書一般消費者からのクレームについて 柴田委員長 資料なし  
国産材の産地証明についてと、業界に対する疑問、質問など消費者からの問合せあり。  
ルール作りを改めていきたいが、使い方について、会員ひとりひとりが慎重に扱うことを徹底したい。
- (17) 石あかり協賛広告依頼について 大代専務 報告 資料 P77  
パンフレットの配布と支出の報告
- (18) 国際技能競技大会(技能五輪国際大会)・石工職種出場者への支援について 大代専務 報告 資料 P80+追加 P4  
支援金支出を報告。
- (19) 「あしたを歩く」復興モニュメント川内村へ贈呈式 二上委員長 報告 資料 P81  
当日の写真を紹介。プレスリリースにより新聞掲載あり。  
石博の結果は必ず何かの形で返ってくるはず。マニュアル作成を成し遂げたい。
- (20) エネ庁採石研修会報告 太田元副会長 報告 資料 P84  
現実に事故が起きている。採石方法の問題など、現場の組合との事前話し合いをした上で講習を行い、安全面の徹底を説明した。
- (21) 12月9日常任理事会会場(ビッグサイト701+702) 大代専務 報告 資料なし
- (22) 年間スケジュール 大代専務 報告 資料 A3

## (23) 8/18 地区長連絡会議報告

佐藤副会長 報告 資料なし

14名出席。地区支部の役割りを明確化、支部総会の徹底、地区支部の課題など意見交換。

お墓D更新は70歳以上を免除して欲しいという意見有。

## (24) 石産協の今後の在り方について

射場会長 討議 (資料なし)

会長 トップダウンではなくみんなで作り上げていく石産協。一人ではできないことも会員ひとりひとりの協力で進めていくことができる。本日出席者の提案、意見をいただきたい。

水野 建墓よりも処分の仕事の方が多い。お骨は代替えできないものなので「お骨取り扱い士」のようなものが作れないかと考えている。それが差別化につながるのでは。

柴田 納骨が集中することがあるので、人材バンクが石産協にあるとよいと考えたこともある。

我々の業界は法律で商売が脅かされている。マスコミよりも政治家を動かす方が費用が軽いと思う。

上野 広報でも話題が出たが墓が石である理由。決定的な1フレーズがあれば消費者に説得する石産協の統一したキーワードになるのではないかと。皆さんの意見が聞きたい。

福川 石でなくてもよいと思うが祈る心やお墓参りの文化を絶やすわけにはいかない。石は墓でなくても違う魅力があると思う。それを分けることで説得できると思う。

伯井 日本古来の石に霊が宿るという感覚を大事にしたい。

白木 鉄はサビ、木は朽ちる。石は永久に残る。亡くなった方のお骨がここに眠っているというしるし。

水野 「恨みは水に流せ、思いは石に刻め」という名言がある。

柴田 1フレーズの力は大きいと思う。

直前 消費者協会のアンケートによると散骨・直送の経験がある方はやるべきではなかったという結果に。消費者はマスコミの情報に踊らされてるのではないかと。

福川 組織に対して大胆な構造改革を望む。地方が活性化するような予算のつけ方をしてほしい。

二上 お墓博士(行政書士)という人が散骨について語っていた。お墓のことは石産協に聞こうという流れができるように石産協でもスポークスマンのような人を作ってはどうか。

柴田 総会は全会員に参加を求めているが、ライオンズクラブのように代議員制ができるとよい。

越智 墓じまいという言葉が我々が自ら使わないようにする。墓が石でなければいけないという考え方ではなく、逆転発想で石のお墓の魅力をついに発信するか。墓じまいに対する対抗策を具体的に早く見つけ出し、向かっていく団体に。支部、1会員にはなかなか伝わらないのでわかりやすい方法を。

斎藤 1商品を石産協として取り組む。音の出るお墓など。

柴田 仕事や技術のマッチングをできるような場を設けるのはどうか。

中村 理事会は旅費の一部が支給されているが、委員会運営は交通費を実費で活動しているため、メンバー招集が負担。しかしミッションを怠るわけにはいかない。理事会は評論すべき場でない、ここがトップの場であるため石産協に何かしてほしいと意見を言うのではなく、実行していく人が必要。そういった組織改革をしたい。

例えば地区から委員会メンバーを推薦し、旅費を地区で負担するなどできれば、地区に情報を共有でき、委員会も活性化し、次世代につないでいきやすい。

福川 石産協のブランディングをしたい。それが会員メリットにつながる。

上野 広報はそのブランディングのための活動。消費者がメリットを感じたときに会員メリットが感じられる。

中江 石博のことでまだ議題にあがるのはなぜか。蒸し返す必要はなかったのではないかと。

次期役員について、理事には推薦された会員が無条件で上がってくるが、理事勤務評定など考慮すべき。規定を正副で検討してほしい。

大代 理事勤務評定は監事の仕事。出欠票を監事に近日提出。

竹ノ内 ブランド作りと同じで「石を愛するコミュニティ」のようなキャッチフレーズを作って使い続けることが大切。石産協のような自由な団体はなかなかない。

佐野 他団体との連携をとり、意見をきいてみたい。

直前 他団体との付き合いの中でPray for (one) や地震の損害保険ができた。

会長 政治連盟には個人加盟であり、石産協としての加盟はない。

戸部 建墓数が少ない問題、家族の崩壊、地域のコミュニティの薄まりのなどの社会問題の中で手を差し伸べることのできる石産協でできればと望む。

戸高 お墓を欲しがらない人の研究も必要ではないかと。

会長 有意義な意見交換であった。今後もこれをやりたい！という声を募集。

(25) 責任賠償保険について

大代専務 報告 資料なし

7/15に申込み開始したが、本日現在申込みが1件もない。意見を伺いたい。

渡辺 現在加入しているものに比べ保険料が高く、補償内容も含め団体保険としてのメリットを感じられない。

佐野 同じような商品に対し保険料が高い。施工に対してだけでなく全体の売り上げに対する保険料となると検討の余地がなくなる。

<各地区・委員会・部会からの報告>

北海道) 越智 隔年実施の地区会議の実行委員会発足。

北関東・信越) 小柴 茨城県支部10月31日にいばらきSFに絡めた地区の事業にしたいと考えている。

東海) 新田 常任理事会後に支部長会議を行う慣例。

近畿) 水野 総会の反省会を終えたところ。11月に支部長会議予定。

中国) 渡辺 中国四国地区全体会議、10月に支部長会議。2月に法律相談会。

四国) 本宮 中国四国地区全体会議、10月に支部長会議。文化財の保護、来年度予算で今治市の動きがあるかも。

九州) 金子 支部長会を招集する予定。

採石) 友常 石博でつながりのできた藝大教授から、来年9月の台北大学と芸大のグループ展への協力要請あり。

加工) 坂口 8/31加工講習会のスタッフ募集。11月中国四国地区全体会議に合わせ原価論の勉強会を考えている。

墓石) 佐野 損保ジャパン墓石保障制度についてアンケート調査結果を今回資料にしたのでご確認を。9月末に会議開催予定。中国四国地区全体会議で輸入卸商と合同部会。産地証明について検討。

広報) 上野 広報委員会にも参加してください。

石博) 二上 次回委員会は中国四国地区全体会議に合わせる予定。

社会) 柴田 産地証明の件を採石、輸入部会と協議していきたい。みなし墓地については彼岸明けに委員会開催。

年次) 戸高 次回は一度東京に戻る。9月中に委員会を開催予定。

研修) 大代 お墓物語2絶賛発売中。支部活動に講師リストを活用してほしい。

D) 中村 ディレクターサイトのリニューアルを検討している。

副会長) 湯口 墓石・輸入の合同部会では産地証明についての在り方の議論。

副会長) 岸本 中国四国地区全体に多くの参加を。

副会長) 井口 支部の活性化のため、本部会議の地方開催を実現していく。

IV. 監事講評

伯井 活発な意見交換であった。具体的に行動する事業に一人一人が手をあげ自主的な会にしていきたい。

V. 閉会

2015年8月19日

議事録署名人 : 井口 功 ㊟

議事録署名人 : 伯井 守 ㊟

議 長 : 白木 秀典

議事録作成人 : 事務局 長島きよ子